

2006年8月10日

不二サッシ株式会社

公害の防止に関する改善実施状況報告書（平成18年度第1四半期版）

昨年8月に、弊社千葉事業所において、水質にかかわる環境問題を起こし、千葉県並びに市原市に対して、平成17年10月21日に「環境問題に関する改善報告書」を提出しました内容の改善実施状況について（平成18年4月～6月）ご報告させていただきます。

1. 環境管理の新組織体制について

平成17年8月26日発足した環境対策プロジェクトのメンバーを平成18年6月1日付組織並びに人事異動により再編し、資材環境品質部および環境安全部の環境に関する改善策と実施状況の監視を、継続して推進、指導する。

2. 環境管理体制の実施状況について

2.1 ダブルチェックの実施状況【05年11月1日より実施】

資材環境品質部が作成する水質測定日報および排水水質月報に基づき、環境安全部は、業務の適正を確認するため提出データを排水水質月報で評価を行い、その評価を総務部コンプライアンス統括室が、法・協定の遵守状況をチェックしている。

クロスチェックとしてCOD, N, Pの分析およびその他の排水（n-hex, SS等）排ガス、土壌、臭気の定期測定を外部分析機関（株東京化学分析センター）へ委託している。また、平成18年度の年間計画を渡し継続して委託契約を交わした。

コンプライアンス統括室が、昨年11月から環境安全部・資材環境品質部と共に、水質汚濁防止法関係事項の整備および現場の改善指導を実施してきた。ある程度の目的を達成したと推量したので、今後は水質汚濁防止法以外の環境関連法も含めチェックシートにより法的事項遵守の状況を確認して、適宜、提出書類で現状把握をしていく。

環境安全部は、環境影響をおよぼす恐れのある法・条例・協定等で定められた施設・設備・廃棄物等の昨年の届出実績を参考に、平成18年度届出計画を作成し、それを当月の作業計画に組み込み、進捗確認と届出が合致しているかを毎月チェックしている。

2.2 当社取締役会への定期報告状況【06年4月28日/5月22日/6月29日実施】

1回/月の排水水質管理実績報告を行っています。

2.3 環境管理委員会の実施状況【06年5月1日/5月17日/6月29日実施】

1 回 / 月の「環境管理委員会」を開催して、環境管理委員会メンバーに対して、環境管理に関する当社の状況や、事業所内の公害防止と環境保全並びに省エネルギーに関する問題点の把握と解決策を協議し、法・協定の内容の周知徹底を図り、知識と意識の向上に努めている。

< 事例 >

断熱サッシに樹脂を注入後洗浄剤としてジクロロメタンを使用していましたが、大気汚染防止を目的に全廃しました。

鋳造工程でアルミ材料の冷却用として繰り返し利用している循環水の水質調査をした結果、COD濃度と n-hex 濃度および塩濃度が高いことがわかったので、濾過器並びに活性炭吸着塔の新設と排水方法を変更する改善計画を作成しました。

ガス漏れによる爆発を予防するため、LPG配管の流体の流れや速度が変化すると考えられる箇所、内部または外部が腐食環境にあると考えられる箇所の肉厚およびガス漏れの確認をし、処置をしました。

2.4 環境安全パトロールの実施状況【06年4月17日/5月16日/6月20日】

1 回 / 月の「環境安全パトロール」を、診断チェックリストを基に、不具合箇所の抽出と改善を目的に、労使並びに協力会社の代表で実施いたしました。環境影響の大きい職場をパトロールして、判明した問題点に関しては、その場で改善方針を討議し、速やかな改善を推進しました。

< 改善例 >

工業用水貯槽の管理部署と容量が誰でもわかるように、看板を設置し表示しました。

排水処理施設の配管の塗装が剥げ落ちていて、腐食の恐れがあるので、錆止め塗装をしました。

アルミ型材を製造する工程へ供給される工業用水が、地下で漏れていたため、配管の修理をしました。

ク - リングタワーの冷却水が、安全通路に飛散していたため、屋根を取り付け、飛散防止をしました。

2.5 定期巡回測定チェックの状況【05年11月1日より実施】

資材環境品質部の環境係が、1直2回、4回 / 日の定期巡回チェックを行い、排水計器の稼働状況の点検およびその計測内容を記録し、排水の信頼性の維持と不具合の発生を予防している。

2.6 中央環境管理連絡会の設置

不二グループ全体18社の公害の発生を未然に防止するため、環境保全に関する情報を集約し、環境管理対策を協議する場として、「中央環境管理連絡会」を新設した。7月14日に第1回「中央環境管理連絡会」を開催しました。

3. 危機管理体制について

平成18年4月1日の人事異動により、千葉事業所での異常事態発生時の緊急時公害防止連絡組織表を変更しました。

4. 排水の水質管理状況について

4.1 濃度（月間平均値）

項目	排水量 m ³ /日	COD濃度 mg/l	N濃度 mg/l	P濃度 mg/l	SS濃度 mg/l	n-hex濃度 mg/l
規制値	2,800	10.0	25.0	2.0	20.0	1.5
4月	2,645	3.8	2.6	0.10	4.1	0.5未満
5月	2,382	4.3	2.4	0.11	4.5	0.5未満
6月	2,660	3.9	2.0	0.11	3.3	0.5未満

4.2 負荷量（月間平均値）

項目	COD負荷量 kg/日	N負荷量 kg/日	P負荷量 kg/日	SS負荷量 kg/日	n-hex負荷量 kg/日
規制値	20.0	50.0	3.4	35.5	1.4
4月	10.0	6.7	0.3	10.9	0.0
5月	10.3	5.6	0.3	11.2	0.0
6月	10.5	5.3	0.3	8.8	0.0

5. 教育関係の実施状況について

環境管理規定の教育基本方針に基づき、全従業員が、企業の社会的責任を認識し、技術・技能の継承と改善能力の効率的な向上を目的に環境に関する教育を実施した。

5.1 一般教育

教育の一環として毎月1日に、事務職全員と係長以上および協力会社の責任者のメンバーに対し、部門長およびG長・T長が輪番制で講師となり、安全衛生と環境関係の体験や改善事例を環境安全朝礼で報告している。また、環境安全部は、全従業員を対象として、月1回ポスタ「環境ひとくちメモ」を発行して、各職場に掲示し啓蒙活動を実施しています。

5.2 専門教育

環境法令で必要とされる資格の取得や実務に即した実践的な知識の習得と、環境スペシャリストの養成を目的とし各部門より人選した12名に対して、平成18年度公害防止管理資格認定講習会へ参加並びに計画をしています。

6月	エネルギー管理士講習	3名	6/27 受講済
7月・8月	産業廃棄物処理施設講習	3名	
7月・8月	公害防止管理者 大気	4名	
8月	公害防止管理者 騒音振動	1名	
9月	公害防止管理者 ダイオキシン	1名	

5.3 管理者・経営層教育【06年5月17日実施】

管理職については、千葉事業所で使用している対象施設と設備仕様をわかりや

すく分類して、環境関連の適用法律と関係設備についての説明と主な罰則を認識させ、法遵守並びに企業の社会的責任および地域環境保全に万全を期すよう教育をしました。

6. 環境活動状況の情報開示について

6.1 2005年度環境報告書の発行

平成16年4月から平成17年3月までの、弊社の環境に関する活動および成果についてまとめた「環境報告書」を平成18年2月に弊社HPに公開しております。

6.2 環境改善実施状況の報告

平成18年2月より弊社HPに、四半期毎の実績を更新して、県民・市民の皆様に、千葉事業所の環境に関する改善報告書を公開しております。

7. 社会貢献活動状況について

- 1) 30回の八幡臨海まつりへ参画をしました。【5月28日参画】
- 2) 高校生の職業意識と進路指導の一環として「拓殖大学紅陵高等学校」3年生40名の工場見学を受け入れました。弊社に就職しているOBから、職業経験などを聞きながら一緒に工場内の説明を受けていた。
【6月23日実施】
- 3) 環境月間行事の一環として、市内の小学五年生72名が、工場で働く様子や家庭で開け閉めしている窓やドアが製品になるまでの学習をしていました。【6月30日実施】
- 4) 国土交通省より「夏季の軽装励行」の指導を受け、弊社は、6月1日から9月30日までの間ク - ルビスを実施しております。また、地球温暖化防止および省エネルギー - に資するため、冷房の設定温度を28 並びに昼間、廊下の照明を消灯しています。
- 5) 市原交通安全協会が実施する7月の自動車シ - トベルトキャンペーン運動に参加しました。【7月20日実施】

今後の社会貢献活動

- 1) 市原市の要請を受け「高校生のインター - シップ支援事業」に参加し、地元高校生の職業意識の醸成および職業選択能力の向上を目的とした実習をおこないます。
- 2) 平成18年度大気汚染防止のための冬季対策に協力し、構内自動車の使用抑制と事務所内設定温度（夏季28 、冬季20 ）を守りCO₂削減します。

今後とも、地域活動に対し積極的に社会貢献活動を推進してまいります。